

上武大学 商学部論集

(旧『上武大学論集』改題)

第十九号

-
1. 商品生産における技術
—商品学としての考察—……………中 村 孝 — (1)
 2. Digital Filter Realization Using All-Pass Filters
…………… Fumihiro F. Shoji (11)
 3. 西鶴と其碩 (Ⅲ)
—其碩の描く町人—……………塚 田 義 房 (23)
 4. 高校生の英語聴解力・読解力・作文力の
実験的研究〔英文〕……………須藤 宜・渡辺延一 (49)
 5. ヨハネス・クリュソストモスの教育思想……………堤 安 紀 (67)
 6. 商学総論研究ノート (1)……………旭 仁 — (89)
-

1986年11月

上武大学商学部学会

『上武大学論集』バックナンバー目次

開学記念特集号（第1号）

民主化と倫理——“状況に生きる”ことの意味——	小島軍造
W. Faulhner, Light in August における非標準語研究	須藤宜
奥日光湖沼群における湖岸帯動物群集について	土屋厚
皇室経済と憲法	金子利一
伊勢崎及び本庄両市の工業構成について	吉家清次
パチョーロ簿記論の二、三の問題点	木村庫三
リスト「国民的体系」断感（上）	小林昇
日産財閥形成過程について	佐々木久信
形成権の行使と請求異議の訴	梅善夫
1840年代における合衆国の関税政策転換について	西川進
世界貨幣金とそのゆくえ	伴野志知郎
特殊商品売買の会計処理（割賦販売）	村岡良静
意思決定の革新と日本型経営	山本勝也

第2号

製造間接費の処理	村岡良静
ジョイスの『芸術家の肖像』に関する一考察	田村繁三
WITZ UND SPRACHE in engem Zusammenhang	小林喬
ホップの協業経営に関する事例研究 ——水本ホップ耕作組合の協業経営の実態——	中本博皓

第3号

板碑工作と中世商品的供給源の一考察 ——秩父山麓の未完成板碑群——	千々和實
明治前期における在来産業の展開 ——群馬県西毛地方の組合製糸業について——	小川襄
商品売買の処理（一般売買）	村岡良静
Beowulf における未来表現	須藤宜
ジョイスの「死せる人々」分析	田村繁三
コンピュータのための英語および日本語の 言語学的構造についての一考察	福田周司

第4号

公害問題に関する経済的考察	中本博皓
「痛ましき事件」における恋愛観	田村繁三
BETRACHTUNGEN ÜBER DAS WESEN DER SPRACHE	小林喬
コンピュータによるある人間能力測定システムとその試行	福田周司
現代英語訳「ヨハネによる福音書」における口語の研究〔英文〕	須藤宜
「実学としての簿記論」に関する一考察	村岡良静

第5号

住民福祉比較指標作成への試み(その1)	
——とくに群馬・栃木・埼玉3県に関する福祉指標作成へのアプローチ——	中本博皓
DIE SCHWÄBISCHE MUNDART	小林喬
中国語について	朱麗春
外国貿易乗数についての一考察	
——所得変動の国際的波及——	片平光昭
英語訳「ヨハネによる福音書」における shall—will の比較研究〔英文〕	須藤宜
コンピュータによる非数値データとくに言語処理について	福田周司

第6号

明治後期—大正期における農器具生産(一)	
(群馬県における養蚕器具の生産について)	小川襄
ソ連邦における土地変革についての一考察	
——共同体との関連において——	竹内みちお
教育漢字の分類による心理的学習指導法	張崇賜
清酒製造業に関する産業組織論的一考察	
——特に構造改善とその若干の問題について——	岡村宗二
ジョイスの『ダブリンの人々』におけるエピファニー	田村繁三
労務管理と疎外	磯和男
FORTRAN による言語データ処理について	福田周司

第7号

取得原価主義会計の危機	海老沼友三男
Die Stellung von nicht innerhalb des Satzes	小林喬
劇作家としてのジェイムズ・ジョイス	田村繁三

<研究ノート>

若者は英語と日本語のどちらを選ぶか

——色名の和・英同意語についてのあるデータ処理——……………福田 周 司

第 8 号

米国の新為替換算相場選択基準

——FASB Statements No.8 をめぐりて——……………児 島 康 雄

明治後期—大正期における農器具生産 (二)

——群馬県における養蚕器具の生産について——……………小 川 襄

構文変換およびプッシュ・ダウンについて……………福田 周 司

長期における投資水準の変化について

——4 次のポテンシャル関数の場合——……………岡 村 宗 二

<研究ノート>

エウセビオス『教会史』にみるオリゲネスの教育活動の枠組とその視点……………堤 安 紀

イスラエルの歴史意識について

——終末論序説——……………桜 井 一

ジェイムズ・ジョイスの審美論……………田 村 繁 三

〔試 論〕

武道の現代化……………中 嶋 宣 夫

創立10周年記念号 (第 9 号)

直接原価計算論争とその評価……………椿 幸 雄

構文変換およびプッシュダウンについて……………福田 周 司

医療の市場構造——医療経済学研究所説……………岡 村 宗 二

市場経済の失敗——【大転換】ノート——……………磯 和 男

都市財政について……………張 為 國

<研究ノート>

ソ連邦における「社会主義的工業化」と

プレオブラジェンスキーの「社会主義的原始蓄積」論 (一)……………竹 内 みちお

上武大学々生の実態と問題点について

——スポーツテスト実施結果の考察——……………藤 島 市 雄

イスラエル預言者の終末思想

——ホセアの終末預言を中心に——……………桜 井 一

ジョイスの作品に登場する女性達……………田 村 繁 三

Vestärkung der Negation durch Adverbien……………小 林 喬

国字で見る日本人の生活知恵……………張 崇 賜

＜研究ノート＞

群馬の和算家とその著述について……………飯塚 正 明

第10号

1. 割引手形の買戻請求権による相殺の効力……………石 田 榮 一
2. 貿易契約における引渡時期について……………櫻 運 准
3. 為替損益とその開示
—F.A.S.B Statement No.8の解明……………児 島 康 雄
4. 倒産会計……………海老沼 友三男
5. 「交換」について……………磯 和 男
6. ケインズ革命の再解釈に関するノート (1)……………岡 村 宗 二
7. 中国唐代の財政制度について (上)……………張 為 國
8. Common Japanese Errors in English……Yasushi Suto, assisted by John M. Peek
9. イスラエル預言者の終末思想
—第二イザヤの慰めの預言を中心に—……………桜 井 一
10. ジェイムズ・ジョイスの『ユリシーズ』分析……………田 村 繁 三
11. 漢字制作の芸術 (その1)……………張 崇 賜
12. 群馬の和算とその著述について (続)……………飯 塚 正 明

第11号

1. 価値と経済計算……………竹 内 みちお
2. 日本における原始蓄積と「村落共同体」……………小 川 襄
3. 私的所有について
—個人の個人化—……………中 村 雄 司
4. ケインズ革命の再解釈に関するノート (2)……………岡 村 宗 二
5. 中国唐代の財政制度について (下)……………張 為 國
6. 桐生地域における地場産業問題の本質……………本 多 哲 夫
7. 組織について……………磯 和 男
8. 時価主義会計に関する一考察……………禰 聿 雄
9. 表見取締役の監視義務と商法266条の3の責任……………石 田 榮 一
10. 漢字制作の芸術 (その2)……………張 崇 賜
11. ジョイスの『ユリシーズ』への鍵……………田 村 繁 三
12. A COMPARATIVE STUDY JAPANESE AND ENGLISH
—On Onomatopoeia—……………須 藤 宜
13. JAPANESE POLITICAL ATTITUDES
—A Case Study of JOBU College—……………ジョン M. ピーク
14. 帝政ローマの造形芸術とキリスト教……………小 川 明

15. 群馬の和算家と暦学……………飯塚正明

第12号

1. 企業の社会化について (1)……………中村雄司
2. 動機づけ理論へのアプローチ (1)……………須藤茂之
3. 大学における情報処理教育の実践性とその試み：
ある実践とその効果……………福田周司
小坂橋 聡
4. 中国諸子百家の財政思想について (上)……………張 為國
5. 簿記教育における商品勘定の扱いに関する一考察……………安藤輝夫
6. ケインズ革命の再解釈に関するノート (3)……………岡村宗二
7. 二重決定仮説と私的労働……………竹内みちお
8. 群馬の和算家と暦学——異色の暦学者・小暮武申……………飯塚正明
9. Foreign Affairs—The View from Jobu……………John M. Peek
10. 日英語未来表現の対照研究 (英文)……………須藤 宜
11. ジョイス研究の新方法……………田村 繁三
12. 漢字制作の芸術 (3)……………張 崇賜
13. ローマ帝政とキリスト教に関する研究ノート (1)……………小川 明
14. 西群馬教会の成立……………櫻井 一
15. オリゲネスの『ケルソス駁論』IV. 65から
歴史と自由の概念について……………堤 安紀

第13号

1. 経営者支配論へのアプローチ……………中村雄司
2. 「商の文化論的研究」〔I〕
——とくに吾が国近世商業思想を中心として……………秋山雅晴
3. 経営診断における戦略的アプローチの研究 (I)……………本多哲夫
4. 中国諸子百家の財政思想について (下)……………張 為國
5. 貸借対照表能力に関する一考察……………安藤輝夫
6. 動機づけ理論へのアプローチ (2)……………須藤茂之
7. JPKEに見るケインズ理論の展開……………岡村宗二
8. 日本語のル・タ形と英語表現の対照研究 [英文]……………須藤 宜
9. Using Humanistic Techniques in Teaching
Foreign Language Students……………Esther L. Beckon
10. 詩人としてのジェイムズ・ジョイス……………田村 繁三
11. 漢字制作の芸術 (4)……………張 崇賜
12. 群馬の和算家と暦学 (3)——異色の暦学者・小暮武申……………飯塚正明

13. オリゲネス著『ケルソス駁論』VII. 68. とその背影について……堤 安 紀

第14号

1. 物価変動会計の制度化について……齋 隼 雄
2. 「経済」の意味は2つか……竹 内 みちお
3. 世界経済について〔英文〕……星 野 為 国
4. 自己株式の質受けについて……石 田 榮 一
5. 「A中等部のしつけ」に関する調査……須 藤 茂 之
6. ジョイス名作の背景……田 村 繁 三
7. 美的判断の普遍性の構造……橋 本 博
8. 漢字制作の芸術 (5)……星 野 崇 賜
9. 群馬の和算家と暦学 (4)——柳沢伊寿について……飯 塚 正 明
10. アンティオキアのイグナチオ——その生涯と神学……堤 安 紀

第15号

1. 日本企業の特質……磯 和 男
2. 価値・価値形態・価値尺度……竹 内 みちお
3. ビックスの *IS-LM* 理論とケインズ経済学……岡 村 宗 二
4. 運送の実際について、一考察……旭 仁 一
5. Padé-Type Approximations—Cauer Continued Fractions
Relationship and Singular Conditions in Reduced Order
Models ……庄 司 文 啓
6. 群馬の和算家と暦学 (5)
——斎藤宜義と中曾根慎吾——……飯 塚 正 明
7. 群馬県の村落社会類型として「養蚕型」導入・設定の課題 (上)……小 池 善 吉
8. 汉语反义词释义 (1)……星 野 崇 賜
9. 「死せる人々」の背景……田 村 繁 三
10. ヒッポリュトスの『使徒的伝承』、その共同体構造と教育……堤 安 紀
11. 英詩に対する多変量解析 その一 数量化三類……佐 藤 友 訪
12. 槍投げについての一考察……小 川 嘉 孝
13. 都市政府の財政について……星 野 為 国
14. 「直接的に社会的な労働」の概念について (1)……小野沢 隆 司
15. 美的判断の普遍性の構造 (2)
——「判断力批判」の研究II——……橋 本 博
16. The Early Japanese Immigrants in Hawaii……Iris Ekita
17. 機能通貨法の基礎……児 島 康 雄

第16号

1. 監査役の職務の範囲と辞任監査役および
表見的監査役の対第三者責任……………石 田 榮 一
2. 経営者支配と日本企業
——日本の経営の特殊性について——……………磯 和 男
3. 企業形態論の方法について……………中 村 雄 司
4. 動機づけ理論へのアプローチ (3) No.1……………須 藤 茂 之
5. ケインズ理論の再解釈と単純な短期モデル……………岡 村 宗 二
6. Model Reduction for Linear Systems with Singular or
Unstable Reduced Order Models……………Fumihiro F. Shoji
7. 明治～大正期における新町村制と村落構造
——群馬県吾妻郡の在郷町村の事例について——……………小 池 善 吉
8. エルサレムのキュリロスとその教育思想……………堤 安 紀
9. 群馬の和算家と暦学 (6)
——石田玄圭と高弟坂本亮春・豊春——……………飯 塚 正 明
10. 西鶴と其磧 (1)——其磧の描く遊女——……………塚 田 義 房
11. ジェイムズ・ジョイスの「エピファニー」……………田 村 繁 三
12. 「判断力批判」の課題……………橋 本 博
13. 棚卸資産換算基準の軌跡
——米国の公式見解をめぐりて——……………児 島 康 雄
14. 貨幣・金融と経済変動……………星 野 為 国
15. 英国陸上交通の歴史と政策……………旭 仁 一
16. 新聞の広告にみる情報処理技術者の需要傾向に関する
コンピュータ処理について——PART I……………福田 周司・石川 正子
17. 汉语反义词释义 (2)……………星 野 崇 賜
18. 自由貿易と保護貿易主義……………結 城 栄 三
19. ソ連邦における労働流動性……………小野沢 隆 司

第17号

1. 汉语反义词释义 (3)……………星 野 崇 賜
2. 西鶴と其磧 (II) ——其磧の描く大臣——……………塚 田 義 房
3. On Continued Fraction Inversion by Leading Principal
Minors of Inversion Matrix……………Fumihiro F. Shoji
4. エイレナイオスの「時」の概念……………堤 安 紀
5. 企業形態論の方法について ——続——……………中 村 雄 司
6. 大正デモクラシーと農村社会……………小 池 善 吉

7. 商品研究ノート (1): プラスチック材料の特質と市場……………中村孝一
 8. 自主管理の経済学 (補論) ……………竹内みちお
 9. 新聞の広告にみる情報処理技術者の需要傾向に関する
 コンピュータ処理について—Part II……………福田周司・石川正子
 10. 和算家・剣持章行とその業績……………飯塚正明
 11. 反転重合構造論 (複式簿記に於ける取引の8要素表の潜在構造) ……佐藤友訪

第18号

1. 動機づけ理論へのアプローチ (3) No.2……………須藤茂之
 2. 貨幣数量説について……………星野為國
 3. Application of Complementary Method to the Realization of
 Digital Filters……………Fumihiro F. Shoji
 4. On Keynesian Features of Price and Income Adjustments :
 What Keynes Means……………Soji Okamura
 5. 商品性の多様化……………中村孝一
 6. 「資本の人格化」について
 —経営者は資本家か—……………磯和男
 7. 「美的判断力批判」に於ける「遊び」の概念……………橋本博
 8. アナール学派の可能性……………小川明
 9. ジェイムズ・ジョイスとダブリン……………田村繁三

執筆者紹介

中 村 孝 一 (商品学) 渡 辺 延 一 (英語教育法)
庄 司 文 啓 (情報工学) 堤 安 紀 (教父学・フランス語)
塚 田 義 房 (国文学) 旭 仁 一 (商業学)
須 藤 宜 (英語学)

編集委員

小 川 明
児 島 康 雄
須 藤 茂 之
竹 内 みちお
堤 安 紀 (50音順)

上武大学商学部論集 (旧『上武大学論集』改題)

第19号

1986年10月25日 印刷

1986年11月1日 発行

発行人代表 松 島 弥 太 郎

発行所 上武大学商学部学会

〒372 群馬県伊勢崎市戸谷塚町634

TEL. 0270-32-1011

印刷 株式会社 エスエイ印刷

群馬県藤岡市藤岡481

JÔBU JOURNAL
of
FACULTY OF COMMERCIAL SCIENCE

No.19 Contents

Nov. 1986

-
- 1 . Technology for CommoditiesKoichi Nakamura (1)
 - 2 . Digital Filter Realization Using All-Pass
FiltersFumihiro F. Shoji (11)
 - 3 . Saikaku and Kiseki (III) : "Chōnin" as
Depicted by Kiseki Yoshifusa Tsukada (23)
 - 4 . An Investigation of Listening, Reading and Writing
Abilities in English by High School Students
.....Yasushi Suto and Nobuichi Watanabe (49)
 - 5 . Idée éducatrice chez saint Jean Chrysostome
.....Yasunori Tsutsumi (67)
 - 6 . Some Notes on Commerce, No.1Jinichi Asahi (89)
-

Edited by
THE RESEARCH SOCIETY OF FACULTY OF COMMERCIAL SCIENCE,
JÔBU UNIVERSITY, ISESAKI, JAPAN